

日本中央競馬会畜産振興事業 応募書
事業内容(様式1)

事業名(20文字以内)	
-------------	--

応募者名(組織・団体)		
事業担当者	役職	
	氏名	

1. 背景(畜産における課題)

<記載上の注意>

- ・枠内に収まるよう記載すること(ゴシック、11ポイント、545文字)
- ・審査内容に沿って、事業の背景を記載すること

(審査内容)

- 国の基本方針及び施策との関係性
- 解決すべき課題に客観性やデータ等の根拠があるか
- 事業テーマに該当するか

2. 事業の目的

<記載上の注意>

- ・枠内に収まるよう記載すること(ゴシック、11ポイント、588文字)
- ・事業の目的を明確に記載すること

(審査内容)

- 事業テーマに該当するか
- 応募区分が重点項目の場合、重点事項に該当するか
- 国による助成がない事業であり、本事業の助成対象外の内容が含まれないか
- 課題解決のための必要性・緊急性があるか
- 個人への直接助成や催事・啓蒙活動のみの事業、外部委託のみの事業、又は機械・施設の整備等、資産の取得を目的とした事業でないこと

3. 事業の内容(事業項目毎に記載) (3ページ以内)

<記載上の注意>

- ・枠内に収まるよう記載すること(ゴシック、11ポイント、3ページ以内)
- ・事業項目は、最大5つとし、事業項目毎に記載すること
- ・事業内容を明確に記載すること

例

- (1) 事業の推進及び評価
(進捗の確認方法、推進・評価内容及び方法、委員会の開催時期・頻度等)
- (2) ○○調査
(実施期間(調査期間、研究期間等)、対象・範囲(人数、畜種、地域等)、それらの根拠等)
- (3) ○○普及・指導
(実施期間、対象、範囲、必要な人数、効果の確認方法等)

(審査内容)

事業計画が具体的であり、数値等に根拠があるか

【応募区分が重点項目及びその他の場合】

- 事業成果は、公益の用に供するものであり、全国的な普及・波及が見込めるものであること
- 個人への直接助成や催事・啓発活動のみ、外部委託のみの事業でないこと
- 過去に類似の事業を実施している場合、事業成果や事業評価を踏まえた事業内容の検討・改善を行っており、事業目標の達成に向けて継続の必要性が認められること

【応募区分が研究開発の場合】

- 新規性・先導性があること(先行又は競合する研究との比較を含めること)
- 研究開発の成果は、公益の用に供するものであり、実用化及び全国的な普及が見込めるものであること
- 十分な予備研究に基づく具体的な研究計画であり、事業目標の達成につながる事業成果が期待できること
- 機械・施設の整備等、資産の取得を目的とした事業でないこと
- 過去に類似の事業を実施している場合、事業成果や事業評価を踏まえた事業内容の検討・改善を行っており、研究内容の発展性及び継続の必要性が認められること

4. 畜産現場への成果の公表・普及

(1) 公表及び普及方法

- ・〇〇のウェブサイトに掲載
- ・〇〇の情報誌に掲載
- ・パンフレットを配布
- ・オンライン/現地説明会を開催

(2) 公表及び普及の範囲・時期

- ・〇〇年〇月に〇〇に掲載
- ・〇〇年〇月 都道府県の〇〇組合(〇件)に対して〇〇部を配布
- ・〇〇年〇月～〇月に計〇回 東京、〇県、〇県において現地説明会を開催
出席者は、〇〇農協担当者、〇〇農家等とし〇〇名の参加を予定

(3) 成果が普及した場合の効果

- ・〇〇が課題となっている全国の〇〇農家において、〇〇技術が普及することにより、労働時間が〇〇/年削減される
- ・〇〇の啓発活動により、〇〇衛生対策及び〇〇ワクチン実施率が高まることにより、〇〇の発生率/発生件数を〇以下に減少させる

(3) 普及に向けた課題及び対応策

- ・普及に向けては、説明会だけでなく技術指導が必要であることから、〇〇と連携し、事業終了後〇年間、〇〇等の技術指導を実施予定

(4) 知的財産権(特許等)の取得及び企業等における販売等の計画

- ・事業終了後〇〇技術に関する特許を取得予定
- ・〇〇企業に委託し、〇〇を製造し販売予定

<記載上の注意>

- ・枠内に収まるよう記載すること(ゴシック、11ポイント、1ページ以内)

(審査する内容)

- 〇事業成果は、公益の用に供するものであり、全国的な普及・波及が見込めるものであること
- 〇普及計画が具体的(時期、対象、範囲、効果)であること

5. 事業の実施体制

(1) 事業の実施者

ア) 事業実施(共同応募者も含む)

	担当内容	氏名	所属・役職	類似事業の 経験年数
1				
2				
3				
4	<記載上の注意> ・事業実施に直接関係ある者を記載すること ・必要に応じて表に行を追加(削除)すること			
5				
6				
7				
8				

イ) 経理(共同応募者も含む)

	担当内容	氏名	所属・役職	類似事業の 経験年数
1				
2				
3				

(2) 事業の推進体制

(ア) 委員の選定方法

例: ○○及び○○について専門的知見から助言を得るため、○○関係及び○○関係の組織から委員を選定

(イ) 委員の人数及び専門分野

例: 計3名

○○分野 1名、◇◇分野 1名、○○分野 1名

<記載上の注意>

推進・評価委員には、事業実施主体(共同実施主体を含む)や委託先等の事業実施に関係のある者を任命することはできません。

(3) 事業の評価体制

(ア) 委員の選定方法

(イ) 委員の人数及び専門分野

(4) 経理に係る内部・外部監査の実施及びチェック体制

(5) 共同応募者の概要(該当する場合)

組織名:

法人の区分: (例:農業協同組合 公募要領の5. 応募者の要件に記載されている①～⑧
のいずれかの区分を記載)

組織の代表者:

<記載上の注意>

・枠内に収まるよう記載すること(ゴシック、11ポイント、計2ページ以内)

(審査する内容)

○事業実施体制が適切であること

○推進・評価体制が適切であること(人数、専門分野等)

○共同応募者は要件を満たしていること

6. 事業の目標

(1) 成果目標(アウトカム)

① 最終目標(事業終了後、最終的に実現)

ア) 最終目標の設定

(成果が畜産現場に普及した場合に、生産者や消費者が得られる利益や効果)

	目標	現状値	目標値	評価指標
1	全国の〇〇病の発生件数の低下	(年度) 〇件	(年度) 〇件	農林水産省〇〇統計
2	〇〇技術の導入による労働時間の削減	(年度) —	(年度) 〇時間	〇〇団体の調査による 〇〇統計

イ) 最終目標・指標の設定根拠

例: 事業成果である〇〇が普及することにより、〇〇の効果が得られるため、〇〇の改善効果を表す〇〇を最終目標として設定した。

ウ) 最終目標の評価方法

例: 毎年〇〇組織により調査・公表されている〇〇を用い、〇〇の計算式により〇〇が算出可能であり、この値で評価する。

<記載上の注意>

- ・枠内に収まるよう記載すること(ゴシック、11ポイント、1ページ以内)
- ・目標が複数ある場合は、表に行を追加すること
- ・最終目標の年度は、事業成果の普及期間を考慮し、事業終了後5年以内とすること。(ただし、応募区分が重点項目であり、国の施策等と目標が関連する場合は、国の施策目標年度とすることが可能)

(審査する内容)

- 事業目的と一致した、事業目標・評価指標が設定されていること
- 応募区分が重点項目の場合、事業目標が重点事項の内容に合致していること
- 評価可能な目標であること

① 中間目標(事業終了時点で実現)

ア) 中間目標の設定

	目標	現状値	目標値	評価指標
1	ワクチンの年間実施率の向上	(年度) 〇%	(年度) 〇%	事業実施対象者のワクチン実施率
2	〇〇技術の導入件数の増加	(年度) 〇件	(年度) 〇件	事業対象県における農家の〇〇の導入件数
3	〇〇方法の認知率の向上	(年度) 〇%	(年度) 〇%	〇〇方法のマニュアル及び技術指導法の周知率

イ) 中間目標・指標の設定根拠

例: 直接目標である〇〇の達成により、〇〇が上昇することから、〇〇を中間目標として設定した

: 最終目標〇〇年度〇〇%に対し、中間目標を〇〇%とした

ウ) 中間目標の評価方法

例: 事業実施主体による調査及び〇〇統計の値を用いて〇〇率を算出し、目標の達成状況进行评估

エ) 最終目標との関係

例: 中間目標である〇〇が達成されることにより、〇〇が改善され、〇〇となることから、〇〇を最終目標とした。

<記載上の注意>

- ・枠内に収まるよう記載すること(ゴシック、11ポイント、1ページ以内)
- ・目標が複数ある場合は、表に行を追加すること

(審査する内容)

- 事業目的と一致し、事業成果が評価できる中間目標が設定されていること
- 最終目標と中間目標の関係が明確であること
- 事業の終了時点で評価可能な目標であること

(2) 直接目標(アウトプット)

ア) 直接目標の設定

- ・ 事業を実施することによって直接得られるデータ、研究結果、開発される技術、作成される資料など
- ・ 事業の項目ごとに設定

	目標	現状値	目標値	検証データ
1	ワクチン実施件数	(年度)	(年度)	委託先からの報告件数
2	説明会の開催件数及び参加人数	(年度)	(年度)	事業実施主体による実際の実施データ
3	〇〇調査の年間実施件数	(年度)	(年度)	事業実施主体による実際の実施データ
4	〇〇マニュアルの作成	(年度)	(年度)	事業実施主体による実績
5	〇〇方法の確立	(年度)	(年度)	〇〇方法による的中率〇〇%以上の技術の達成

(ア) 目標値の設定根拠・評価方法

- ・ 中間目標の〇〇を達成するため、〇〇の年間実施件数を〇〇とした
- ・ 中間目標の〇〇を達成するため、各県の農家数の〇〇%を参加人数の目標件数とした

<記載上の注意>

- ・ 枠内に収まるよう記載すること(ゴシック、11ポイント、1ページ以内)
- ・ 目標が複数ある場合は、表に行を追加すること

(審査する内容)

- 各事業項目の達成状況が確認できる事業目標・評価指標が設定されていること
- 評価可能な目標であること

7. 委託内容・理由(委託内容毎に作成)

1	委託する事業の項目: ○○調査・分析
	委託内容: ○○地域の○○に対する調査
	委託する理由: ○○調査は、○○が必要であるが、○○組織は、○○農家と関係があり、調査を円滑に実施できるため
	委託先の選定方法(入札をせず随意契約する場合はその理由): 入札 最低価格落札方式
	委託先の概要: (委託先の組織名、事業内容、専門分野等を簡潔に記載)
	委託額及び総事業費に占める割合: ○○○円、○○%
2	委託する事業の項目: ○○調査・分析
	委託内容: ○○の分析
	委託する理由: ○○は、○○等の機器や技術が必要であり、事業実施主体では実施できないため
	委託先の選定方法(入札をせず随意契約する場合はその理由): ○○の分析技術を持つのは、○○大学のみであるため、○○大学と随意契約を行う
	委託先の概要: (委託先の組織名、事業内容、専門分野、技術等を簡潔に記載)
	委託額及び総事業費に占める割合: ○○○円、○○%

<記載上の注意>

- ・委託する事業項目が複数ある場合は、表を追加すること(ゴシック、11ポイント)
(地域の複数の団体等に対して同様の事業内容を委託する場合は、まとめて記載することが可能。
その場合は、委託先の一覧等を別途添付すること)
- ・委託内容と委託費の積算項目(電子申請システムに入力)が一致していること

(審査する内容)

○委託の必要性が明確であり、委託先は、業績や能力に基づき適切に選定されていること

8. 外注内容・理由(内容毎に作成)				
	外注内容 (数量・種類等を記載)	外注先の 選定方法	見積もり書の依頼先	見積金額(円)
1	検体〇〇、測定項目〇〇 発注日〇、結果送付期限 〇	検体数〇〇の 〇〇を測定可 能な分析会社	〇〇社、▲▲社	〇〇円、〇〇円
2				
3				
4				

9. 設備備品				
	備品名(規格)	数量	単価(円)	必要理由 (個数・規格の根拠等)
1	〇〇測定器(〇〇規格)	1	〇〇	〇〇を〇〇の期間で測定する必要があるため、〇〇以上の規格が必要
2	〇〇採材機(〇〇規格)	3	〇〇	1年間で、〇〇数のサンプルを取得するため、同時に3か所でサンプル採取を行うことが必要
3	〇〇ソフトウェア(〇版)	1	〇〇	〇〇機能が必要であることから〇版が必要
5				
6				
7				
8				
9				
10				

<記載上の注意>

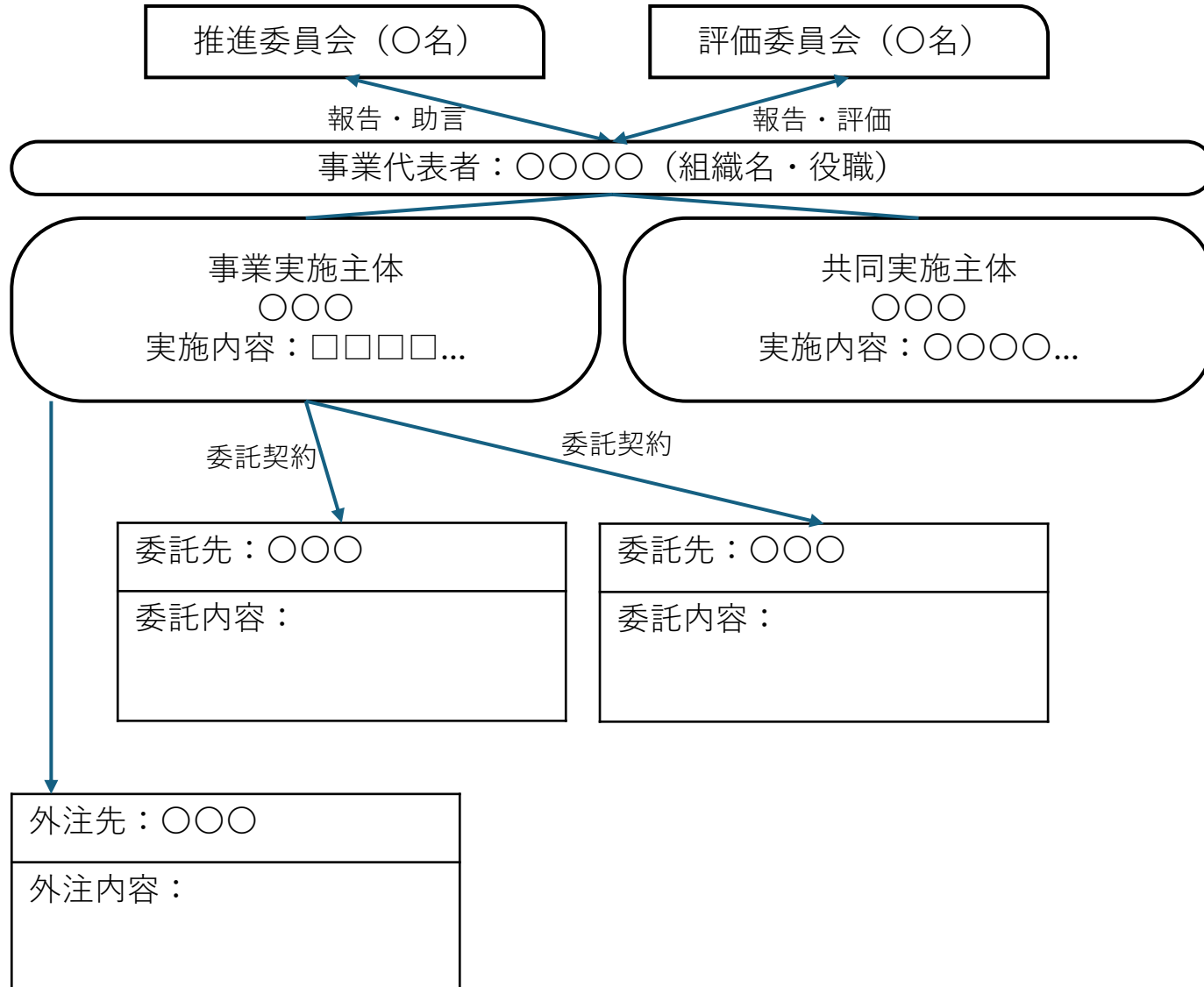
- ・全ての外注及び設備備品について記載すること
- ・外注内容や設備備品が複数ある場合は、表に行を追加すること(ゴシック、11ポイント)

(審査する内容)

- 予算規模及び予算配分が適切であり、積算根拠が明確に示されているか
- 外注内容が明確であり、適切に取得した見積書に応じて積算されているか
- 設備備品の規格や数は、事業内容に応じて適切となっているか

日本中央競馬会畜産振興事業応募書
実施体制・事業概要図（様式2）

【実施体制】事業名：



【事業概要】 事業名：

以下の①～③を含む事業概要を記載してください
①背景・目的、②事業内容・事業の流れ、③成果・目標

必要に応じて、図、グラフ、写真等を活用してください

(可能な限り11ポイント以上で記載してください)

日本中央競馬会畜産振興事業応募書
工程表（様式3）

事業名	例：〇〇〇事業
事業項目①	例：事業推進・評価

時期	〇〇年度	〇〇年度
〇月	推進・評価委員会の委嘱、開催 事業計画及び事業内容の確認	推進委員会の開催 進捗状況及び事業内容の確認
〇月	委員会へ中間報告 進捗状況の報告	委員会へ中間報告 進捗状況の報告
〇月		委員会へ最終報告 目標達成状況の確認
〇月	委員会へ年度末報告 目標達成状況の確認 次年度計画の確認	評価委員の委嘱、委員会の開催
< 記載上の注意 > ・ 事業項目毎に作成すること ・ 1 ページ以内に収まらない場合は、複数ページとすることが可能 （審査する内容） ○実施時期及び内容が明確であること ○目標達成に向けた、具体的なスケジュールであること		

日本中央競馬会畜産振興事業応募書
工程表（様式3）

事業項目②	例：〇〇調査	
時期	〇〇年度	〇〇年度
〇月	調査対象・調査項目の検討	〇〇県〇件の調査実施
〇月	調査対象・調査項目の決定	〇〇県〇件の調査実施
〇月	〇〇県〇件の調査実施（委託先：〇〇）	調査結果のとりまとめ、分析
〇月	〇〇県〇件の調査実施（委託先：〇〇）	
〇月	調査結果の中間とりまとめ	〇〇報告書の作成 普及資料の作成
〇月		普及資料の配布、説明会 ウェブサイト掲載

日本中央競馬会畜産振興事業 応募書
予備研究及び関連研究(様式4)

A: 応募者

(1) 経歴・実績

所属 事業代表者		
主な経歴	<記載上の注意> ・枠内に収まるよう記載すること(ゴシック、11ポイント、11行以内)	
主な実績 (5件) (概要がわかる資料を添付)	1	<記載上の注意> ・枠内に収まるよう記載すること(ゴシック、11ポイント、4行以内) ・必要に応じて、概要がわかる資料を添付すること
	2	
	3	
	4	
	5	

(3) 予備研究・関連研究

ア) これまでの研究状況

＜記載上の注意＞

・枠内に収まるよう記載すること(ゴシック、11ポイント、1ページ以内)

(審査内容)

○応募事業の研究課題に至るまでの予備研究・関連研究が十分に行われていること

○応募事業の研究計画(方法、対象等)の根拠が確認できること

イ)これまで発表した研究成果(アで言及した研究に関するものを記載)

年	研究内容、掲載誌等
	<記載上の注意> ・枠内に収まるよう記載すること(ゴシック、11ポイント、1 ページ以内)

(2)エフオート

ア) 計画中・応募中の研究事業(JRA 畜産振興事業を含む)

資金制度・研究費名 (研究期間)	事業名	事業内容	研究費 (千円)	エフオ ート%
(年 月 ~ 年 月)			千円	
(年 月 ~ 年 月)			千円	
(年 月 ~ 年 月)			千円	

イ) 実施中(JRA 畜産振興事業については、共同実施及び受託を含む)

資金制度・研究費名 (研究期間)	事業名	事業内容	研究費 (千円)	エフオ ート%
(年 月 ~ 年 月)			千円	
(年 月 ~ 年 月)			千円	
(年 月 ~ 年 月)			千円	
(年 月 ~ 年 月)			千円	

(審査内容)

○他の補助事業との重複がないこと

○応募事業へのエフオートが十分に確保されていること

B: 共同応募者

(1) 経歴・実績

所属 事業代表者		
主な経歴	<記載上の注意> ・枠内に収まるよう記載すること(ゴシック、11ポイント、11行以内)	
主な実績 (5件) (概要がわかる資料を添付)	1	<記載上の注意> ・枠内に収まるよう記載すること(ゴシック、11ポイント、4行以内) ・必要に応じて、概要がわかる資料を添付すること
	2	
	3	
	4	
	5	

(3) 予備研究・関連研究

ア) これまでの研究状況

＜記載上の注意＞

・枠内に収まるよう記載すること(ゴシック、11ポイント、18行以内)

(審査内容)

○応募事業の研究課題に至るまでの予備研究・関連研究が十分に行われていること

○応募事業の研究計画(方法、対象等)の根拠が確認できること

イ) これまで発表した研究成果(アで言及した研究に関するものを記載)

年	研究内容、掲載誌等
	＜記載上の注意＞ ・枠内に収まるよう記載すること(ゴシック、11ポイント、14行以内)

(2)エフォート

ア) 計画中・応募中(JRA 畜産振興事業を含む)

資金制度・研究費名 (研究期間)	事業名	事業内容	研究費 (千円)	エフオ ート%
(年 月 ~ 年 月)			千円	
(年 月 ~ 年 月)			千円	
(年 月 ~ 年 月)			千円	

イ) 実施中(JRA 畜産振興事業の場合は、共同実施及び受託を含む)

資金制度・研究費名 (研究期間)	事業名	事業内容	研究費 (千円)	エフオ ート%
(年 月 ~ 年 月)			千円	
(年 月 ~ 年 月)			千円	
(年 月 ~ 年 月)			千円	
(年 月 ~ 年 月)			千円	

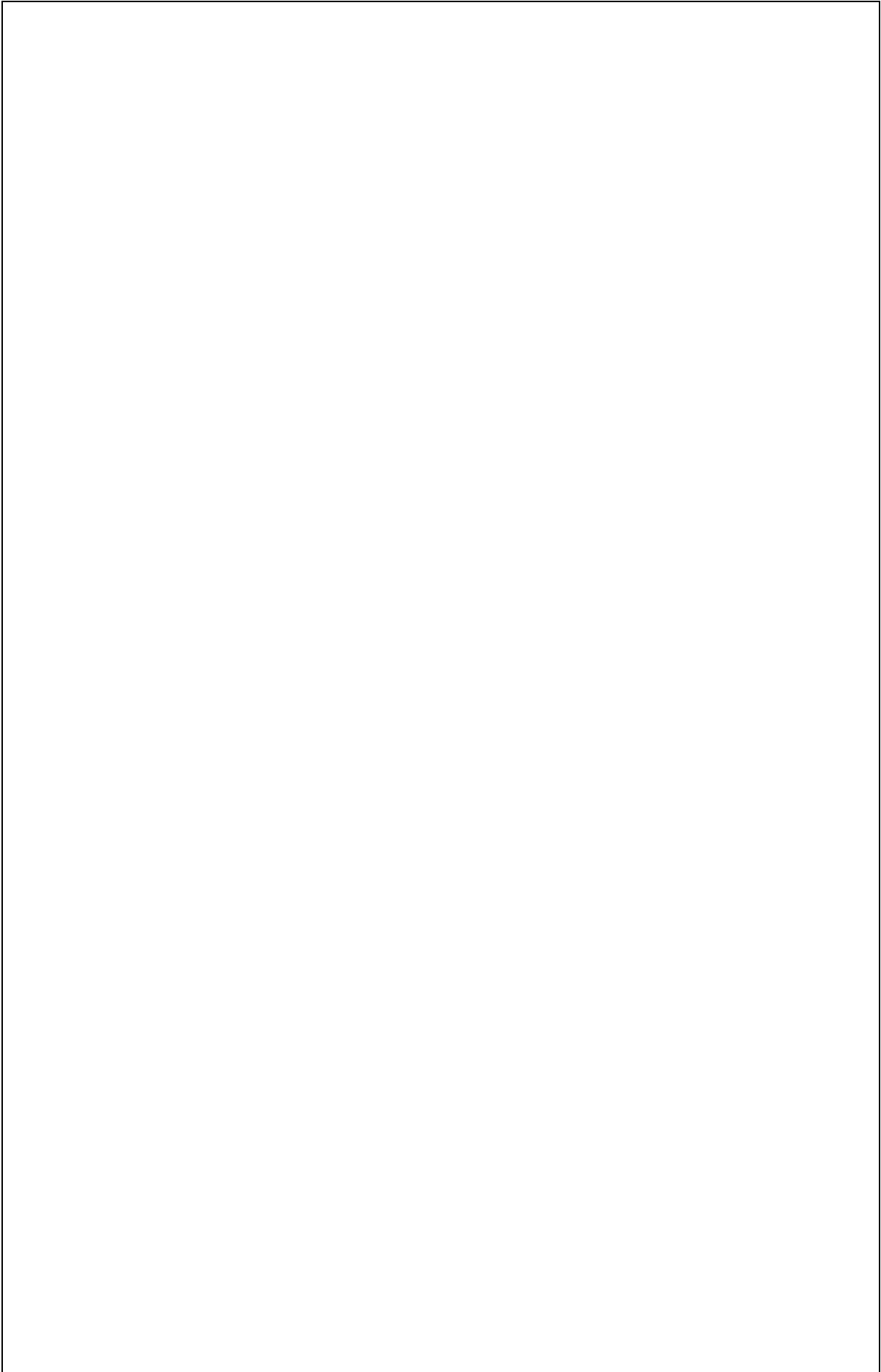
(審査内容)

○他の補助事業との重複がないこと

○応募事業へのエフォートが十分に確保されていること

日本中央競馬会畜産振興事業 応募書
事業進捗状況報告書（様式5）

事業名	事業実施主体 (共同実施主体)	事業費 (助成金)	実施期間
(実施中の畜産振興事業の事業名を記載)		百万円 (百万円)	○ ～ ●年度
【事業内容】 <記載上の注意> ・ 枠内に収まるよう記載すること（ゴシック、11ポイント、13行以内） ・ 必要に応じて、概要がわかる資料を添付すること			
【直接目標及び中間目標の達成状況】 <記載上の注意> ・ 枠内に収まるよう記載すること（ゴシック、11ポイント、2ページ以内） ・ 事業の進捗状況を具体的に記載すること ・ 事業が計画通りに進んでいない場合や目標が達成されていない場合は、その理由と対応状況を記載すること ・ 必要に応じて、概要がわかる資料を添付すること ・ 共同実施主体として実施している事業についても記載すること (審査内容) ○過去に類似の事業を実施している場合、目標が達成されていること（実施中の場合は、達成見込みであること）			



法人又は団体の概要
(様式 6)

(年 月 日現在)

1. 法人又は団体の概要

法人又は団体名	〇〇法人 〇〇		
所 在 地			
電話番号			
所管省庁・所管課	} (該当があれば記載)		
共管省庁			
設立の根拠法令等			
設立年月日			
代表者職名・氏名	会長 〇〇 〇〇 理事数 〇名 監事数 〇名 職員数 〇名 会員数 〇名 賛助会員数 〇名 評議委員数 〇名		
設立目的			
事業内容			
その他(機関誌、出版物、等)	(該当があれば記載)		

2. 役員等一覧

役職名（常勤・非常勤の別）	氏 名	主な所属（本務）

3. 国等の補助事業等の実施状況

(単位：千円)

区分	事業名	事業概要	実施期間	交付決定額
〇〇省	〇〇〇事業	〇〇を目的とし、〇〇・・・	20XX 年から 20XX 年	〇〇〇千円

<記載上の注意>

- ・過去3年間で実施した、国(省庁名)、独立行政法人、地方公共団体、地方独立行政法人、日本中央競馬会(JRA)、その他の民間団体を助成元とする補助(又は助成)事業等(委託事業を含む。)の実施状況を記載してください。
- ・区分には、助成元を記載してください。(公財)全国競馬・畜産振興会が交付する助成金で実施した事業については、「日本中央競馬会」、民間団体を助成元とする事業については、団体名及び基金名等を記載してください。